

みんなとともに笑顔いっぱい — 「学びあい」「認めあい」「高めあい」 —



みんなとともに



「レベル3」の生活になって1週間が過ぎました。本来ですと「分散登校」をしたり、授業を「2教室」に分けたり、「広い教室」に移したりという方策をとるべきところですが、現段階では「新型コロナウイルスを校内に持ち込まない」という対応を重視しています。「オンライン授業」を想定して、全学年で設定は終わりました。まずは、校内でいろいろ試してみて「慣れる」ところから始めていきます。



「ふくしま学力調査」の結果をお返しします

小学4・5・6年生を対象に、4月に実施された「ふくしま学力調査」の結果が届きました。準備が整い次第、「個人結果票」を返却します。その際に、「保護者用リーフレット」も一緒に配付しますので、詳しくは、そちらをご覧ください。

【「ふくしま学力調査」の特長】

- 1 他の児童や、県・市町村の平均点との比較ではなく、現在の自分の学力のレベルを測定し、過去の自分との比較で「学力の伸び」を実感することができる。一人一人のがんばりを認める調査になっている。
- 2 学力以外の力（根気がある、やるべきことをきちんとやる、自分に自信がある等）が、どれだけ身に付いているのかが見えるようになる。
- 3 調査結果を分析することで、学力向上に向けた授業改善や一人一人に応じた指導・支援の充実を図ることができる。

【「本校児童の特徴」が浮かび上がった質問項目】 — 県平均との比較から —

- ◇とてもよく意識している。 *3学年とも県平均を上回っている。
- 靴そろえ 「ぬいだはき物のかかとをそろえることができますか」
 - あいさつ 「自分からはっきりあいさつをすることができますか」
 - ていねいな言葉づかい 「時と場に応じた正しい言葉づかいができますか」
 - やさしい言葉づかい 「相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができますか」
 - 集団の場での態度 「人の集まる場所では静かにし、し勢をただすことができますか」
- ◇よく意識している。 *2学年が県平均を上回っている。
- 授業開始時刻 「授業や活動のはじまる時こくを守ることができますか」
 - 整理整とん 「つくえやロッカーの中の整理整とんをすることができますか」
 - 返事 「名前をよばれたら「はい」とはっきり返事をすることができますか」
 - 学習準備 「学習の準備を整え、授業にのぞむことができますか」
 - 話を聞き発表する 「先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができますか」
 - 掃除・美化活動 「進んでそうじをし、学校をきれいにすることができますか」
- ◇さらに意識が必要である。 *1学年が県平均を上回っている。
- 登校時刻 「通がくはんの集合時こくや登校時こくを守ることができますか」
(→もしかすると、「通学班」がないから「できる」につけなかったのかな?)

【校長のつぶやき】 その87 「検温」

毎朝、7時30分から検温をして、子どもたちを校舎へ入れている。自宅で体温を測ってきてはいるが、記入した用紙を昇降口でランドセルから出して一人一人確認するのは手間がかかるので、当番の教師による「検温」という形を取っている。（自宅での検温の結果は、担任が確認している）この検温の器具に一長一短がある。

教育委員会から支給された「手動式の非接触型体温計」は、測定する人が必要であり、また外気温の影響を受けやすい。冬には測定不能になってしまうことがあった。その次に購入した「自動測定非接触型体温計」は、やはり測定する人が必要であり、また太陽の光が強いときには、人ではなく建物の温度を拾ってしまう。そして今回購入したのが、自分で画面を見て測定することのできる「タブレット型の非接触型体温計」である。「レベル1」になった際には、子どもが自分で体温を確認し、校舎内に入ることを想定している。

しかし、これにも盲点があった。それは「子どもの身長」である。6年生と1年生では身長が違いすぎて、高さの調節が難しい。ここは高学年には申し訳ないが、膝を折って背を低くして測ってもらうことにしよう。